



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第619号

2023年12月18日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

コミュニティバス実現にむけて市民が動き出す

八千代市のコミュニティバス「ぐるっと号」が廃止されて以来、高津地域は公共施設への移動が困難なことから、地域住民からコミュニティバス運行を求める声が高まっていました。

10月5日、高津地域の有志が集まり、高津「コミュニティバスを走らせる会」が結成され、高津団地とローズタウンを中心とした「コミュニティバス」アンケートを実施、限られた地域の実施にもかかわらず、わずか1か月の間に440世帯を超える回答が寄せられるという驚異的な反応がありました。

アンケートで高津地域の切実な実態が明らかに！

高津「コミュニティバスを走らせる会」が実施したアンケートからは、回答者の78%が高齢者であること、市役所や医療センターへの移動手段として、「バスの乗り継ぎ27%」、「自家用車18%」、そして、「自転車16%」、「徒歩16%」、「ほとんど行かない12%」というものでした。

そして、コミュニティバスの運行については「希望する98%」、「希望しない1%」、「その他1%」という回答。

高津地域の高齢者の多くが、約3km離れた市役所や医療センターへ不便な思いをしながら通っているという実態がアンケートから明らかになりました。

●高津地域から市役所、医療センターへの移動手段

八千代台経由のバス155人 27%

自家用車101人 18%

自転車 94人 16%

徒歩 91人 16%

ほとんど行かない 70人 12%

その他 59人 10%

Point!
回答者の78%が70歳以上の高齢者

Point!
合計32%の方が約3km離れた所へ徒歩、自転車を利用

Point!
ほとんどの方が行く場所である

0 50 100 150

※複数回答可能

市長へコミュニティバス運行を求める要望書を手渡す

12月11日、高津「コミュニティバスを走らせる会」は、服部友則八千代市長へ「コミュニティバス運行を求める要望書」を提出し、高津地域の切実な実態について伝えました。

しかし、市長からは、「交通不便地域を優先させるため、優先順位は下の方になる」という回答にとどまり、具体的な進展には至りませんでした。



議会で実態を伝え求めています

日本共産党は、八千代市議会において、高津地域のコミュニティバス運行の必要性とともに、八千代市全体をみても市役所や市民会館、中央図書間などへのアクセス性が悪いことから、市の責任でコミュニティバスを運行すべきと求めました。

しかし、市の回答は「既存公共交通との共存及び事業の継続性が担保される必要性があるため現時点での導入は難しい」、「必要な行政サービスに応じて高津連絡所も利用していただければ」という冷たいものでした。

日本共産党は、コミュニティバスの運行は住民の切実な声であり、実現のために今後とも全力で頑張る決意です。